

丸子地域協議会の分科会について

地域協議会の 見直し	<p>地域協議会と住民自治組織の役割分担、委員兼務による負担増加、審議案件の減少や提言・調査研究機会の減少、公募委員の減少</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>地域協議会の在り方を検討(令和6年7月に諮問。同年11月に回答)</p> <p>(1) 上田地域を1つの設置単位にすることについて (2) 最大6地域の協議会を1にした場合の適正な委員数について (3) 通算して3期6年を超える委員の再任を認めていない条例の見直しについて (4) 協議会の役割の見直しの必要性について</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和8年度から上田市地域自治センター条例が改正 <b>地域協議会の任務について、「調査研究を行うもの」から「調査研究を行うことができるもの」のように「できる」という表現に変更となる。</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>境界が曖昧だった地域協議会と住民自治組織の役割の重複を解消</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域協議会…市からの諮問・意見聴取に対する審議・答申・意見を述べる組織</li><li>・住民自治組織…地域課題を考える場、まちづくりを担う実働組織</li></ul>
他地域の分科会	<p>上田と武石は分科会を立ち上げていない。 上田は必要があれば立ち上げるスタンス。 武石は今後、委員数が減る見込みである。必要があれば、分科会ではなく全体会議で協議する。 真田は、委員主導で3つの分科会に分かれて協議をしている。(3分科会:自治会の在り方、学校の統廃合、老朽化している公共施設)</p>
現在の分科会の様子	<p><b>【福祉子育て】【文化財歴史】</b> 見識を深める場としての在り方が強くなっている。学習そのものも一つの成果であるが、課題が定まらず、最終的な意見の集約に繋げていくのが難しい。</p> <p><b>【交通】</b> エリアや運行時間の拡大などの意見・要望が出されているが、直ちに改善することが難しい状況となっている。</p>
最近の少人数会議の事例	<p>住民自治組織について諮問案件があった際に、丸子まちづくり会議に関係のある一部の委員に集まっただいて協議した。明確な目標・ゴールに向けて協議できる状況で、少人数が集まる会議というのが、より建設的でスピーディーな成果を上げられると考えられる。</p>



**【今後の分科会の方向性(案)】**

- ・現在の3分科会については、今年度末をもって終了とする。
- ・来年度以降は、協議が必要となる案件が生じた場合に分科会を組織する。  
(別途、委員から要望がある場合は、協議により分科会を組織する。)